

[成果情報名]花材として利用可能なクラブリンゴの品種

[要約]クラブリンゴの「Dolgo」,「Ormiston Roy」,「Makamik」,「Eley Purple」,「Pink Perfection」,「Beverly」,「Adams」は、花材として出荷するのに適している。

[キーワード]クラブリンゴ、花材、交雑和合性

[担当]宮城農園研・園芸栽培部・果樹チーム

[連絡先]電話 022-383-8132

[区分]東北農業・果樹

[分類]研究・参考

[背景・ねらい]

リンゴ園の単植化における受粉樹としてクラブリンゴの利用が想定されているが、クラブリンゴからの副次的収入をねらって、花材としての出荷に適した品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 「Dolgo」は、果実が濃赤色で、果実横径が31mm程度と大きく、果形は円筒形で、9月上旬まで実物として観賞できる(表1)。
2. 「Ormiston Roy」は、果実が黄緑色で、果実横径が12mm程度、果形は円形で、10月下旬まで枝物として観賞できる(表1、図1)。
3. 「Makamik」は、果実が薄赤色で、果実横径が21mm程度、果形は円錐形で、11月上旬まで実物として観賞できる(表1)。
4. 「Eley Purple」は、果実が黄緑色で、果実横径が11mm程度、果形は円形で、11月上旬まで枝物として観賞できる(表1)。
5. 「Pink Perfection」は、果実が鮮やかな赤で美しく、果実横径が17mm程度、果形は円形で、11月中旬まで枝物として観賞できる(表1)。
6. 「Beverly」は、果実が赤で美しく、果実横径が15mm程度、果形は円で12月上旬まで枝物として観賞できる(表1、図2)。
7. 「Adams」は、果実が鮮赤色で透明感があり美しく、果実横径が13mm程度、果実は楕円で、12月下旬まで枝物として観賞できる(表1、図3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 花材として適する形質は、果実の横径が15mm以下で2週間程度の日持ちが必要である。
2. 「Dolgo」,「Ormiston Roy」,「Makamik」,「Pink Perfection」,「Beverly」,「Adams」は、「ふじ」に対して交雑和合性がある。
3. 「Pink Perfection」は、花粉量が少ない。
4. 「Eley Purple」は、リンゴの受粉樹として利用できない。
5. “実付き枝物として利用可能なクラブアップルの品種”として「David」,「Redbud」,「Red Splendor」,「Snowdrift」,の4品種を選定している。(2005年成果情報)
6. 「Dolgo」,「Snowdrift」は苗木として市販されている。

[具体的データ]

表1 クラブリンゴ果実の形態的特性

品種名	果実			果形	観賞終了		備考	判定 ^y	受粉樹 ^x
	色	縦径(mm)	横径(mm)		時期 ^z				
Adams	鮮赤	15	13	楕円	12/下	透明感有り、きれい			
Beverly	赤	13	15	円	12/上	きれい			
Eley Purple	黄緑	10	11	円	11/上	後半は橙色に			花粉無
Ormiston Roy	黄緑	12	12	円	10/下	後半は橙と褐変			
Peachleaf	赤	18	19	楕円	12/下	透明感有り、きれい			隔年結果
Pink Perfection	赤	14	17	扁円	11/中	鮮やかできれい			花粉量少
Aldenham Purple	暗赤	21	26	扁円	11/下	11月上透明感ある赤へ			-
Dolgo	濃赤	34	31	円筒	9/上	落果極早			
Liset	鮮薄赤	20	20	細円錐	10/下	きれい			-
Makamik	薄赤	19	21	円錐	11/上	がくカス残、後半ひび割れ多			
Caronaria Chalottae	黄	34	45	扁円	10/下	特大、開花期極遅		×	開花極遅
Crimson Glory	黒赤	15	15	楕円	11/中	ひび割れ多		×	結実率低
Midget	黄	22	25	扁円	10/下	がく加残		×	
Sargent	鮮赤	6	8	円	10/下	小果、枝伸び悪い		×	
Van Eseltine	緑黄	12	13	扁円	11/中	がく加残、汚い		×	
Winter Gold	黒赤	24	24	円筒	12/上	色調暗い、雄性不稔		×	花粉無
David	鮮赤	11	14	扁円	12/下	透明感有り、きれい			隔年結果
Redbud	鮮赤	10	12	円	12/下	きれい			既出 ^w
Red Splendor	赤	12	14	円	12/中	透明感無し			既出
Snowdrift	朱	9	11	円	12/上	きれい			既出

z : 落果または果実の萎縮等で樹上での観賞期間が終了したと思われる時期

y : 枝物(実物)として、 : 有望、× : 不適、 : 用途によって可

x : はふじと交雑和合性が認められたもの、- は交雑試験が単年度のもの

w : 2005年成果情報で報告済



図1 Ormiston Roy



図2 Beverly



図3 Adams

[その他]

研究課題名 : クラブリンゴの有効活用による受粉樹確保と花材としての新需要創出

予算区分 : 県単

研究期間 : 2004 ~ 2008 年度

研究担当者 : 大沼欣生、鶴飼真澄、高嶋名世瑠、菅原怜、池田裕章、菊地秀喜、安江恵美子